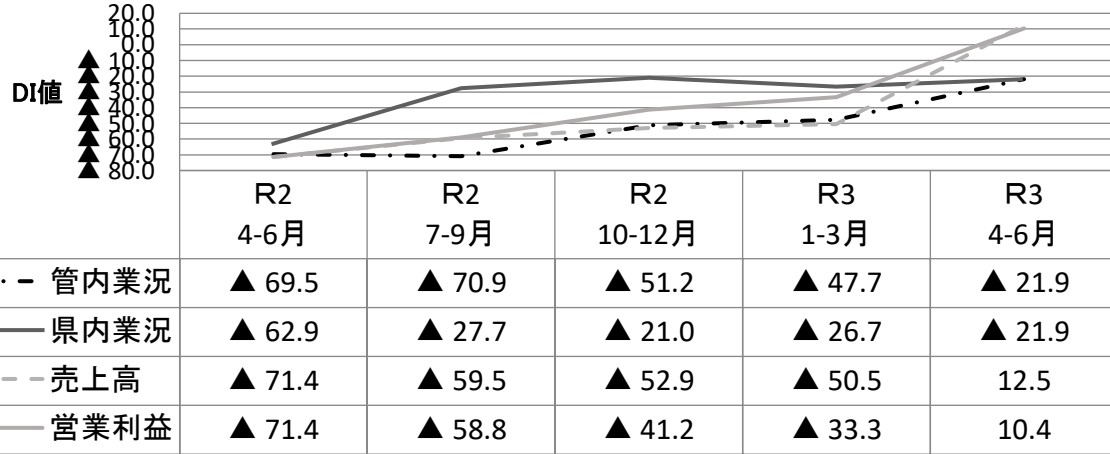


三島管内 景況調査

令和3年度第1四半期
 (調査期間)
 令和3年4月～6月

景気判断指数 DI 値の推移



三島管内の業況感 3期連続で回復傾向

- ☑前年同期比でDI値47.6好転 ▲69.5→▲21.9
 - ☑コロナ前(2年前)同期比▲21.6と同水準
 - ☑売上及び営業利益のDI値がプラスへ好転
 - ☑業況感の今後の見通しは前回調査比で改善 ▲29.4→▲19.4
- コロナ感染拡大、ワクチン接種遅れ、ウッドショック等を危惧

令和3年度第1四半期の三島管内業況感DI値は▲21.9である。
 これは、3期連続で回復傾向であり、新型コロナウイルス感染症拡大により経済の影響が表れた前年同期比(令和2年4月～6月)から47.6好転し、コロナ前の同期比と同水準まで改善された。また、前回調査(令和3年1月～3月)からも25.8改善した。
 業種全体で売上及び営業利益DI値が前回から上昇しそれぞれ12.5、10.4とプラスに転じた。
 業況感の今後の見通し(令和3年7月～9月)は、業種全体で改善傾向にあるが、▲19.4を示した。
 コロナ感染者数の拡大やワクチンの接種の遅れが経済活動に大きな影響があること、建設業ではウッドショックによる資材不足や工期の遅れ等の影響が出始めている。

業種別の業況感DI値は次の通り 【(今期)(今後の見通し)】
 総計(▲21.9)・(▲19.4) 製造業(▲31.3)・(±0) 建設業(▲19.0)・(▲33.3)
 小売・卸売業(▲33.3)・(▲47.6) 飲食・旅館業(±0)・(27.3) サービス業(▲20.0)・(▲16.7)

*この調査は、三島地区の中小企業の景況を定期的に把握し、各事業所の経営の参考にしていただくためのものです。下表にある項目について、「前年同期との比較」及び「今後3ヶ月の見通し」について調査し天気図で表しました。
 (調査対象169事業所 回答96事業所(回収率56.8%))
 *DI値(景気判断指数) = (増加・好転等の回答割合) - (減少・悪化等の回答割合)

景況 天気図 の見方					
	好調・好転・増加	やや 好調・好転・増加	横ばい	やや 不振・悪化・減少	不振・悪化・減少

- 増加50%以上、DI値20%以上
- DI値10%～20%
- 不変50%以上、DI値±10%
- DI値 -10%～-20%
- 減少50%以上、DI値-20%以上

項目 業種	売上高		受注 (製造・建設のみ)		客数 (得意先数)		資金繰り		在庫 (製造・卸小売のみ)		従業員数		パートの採用		営業利益		原材料 (仕入単価)		業況		設備投資	
	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	前年 同期比	今後 3ヵ月	今期実施	今後 3ヵ月 実施予定
全体			/	/					/	/											38.5%	47.4%
製造業																					43.8%	40.0%
建設業									/	/											38.1%	42.9%
小売・卸売業			/	/																	38.1%	47.6%
飲食・旅館業			/	/					/	/											54.5%	63.6%
サービス業			/	/					/	/											32.0%	52.0%